



2023 アジア民族舞踊交流会フィナーレ

ごあいさつ

アジア民族舞踊交流会に^{おも}念う

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団
理事長 三隅 治雄

8年持ち越しのアジア民族舞踊交流会も、関係各位のご協力を得て、さる3月21日国立小劇場で開催。在京の中国・韓国の著名集団と黛民族舞踊団が、伝承の今を顕示し合う舞台を意図し、意欲に満ちた三者の作品が、火花を散らしました。

交流会は財団設立の構想の基にもなった事業です。黛節子師は、邦舞を究めながらも、その源をたずね、掴んだ実感から、さらなる舞踊世界を拓こうと念じました。自らを知るには周辺諸民族を知らねばと交歓交流の機を求めたのです。北から南へ、騎馬・遊牧・畑耕・田耕と基層の生活基盤を異にする諸民族。北は靴で直立・回転・飛翔、南は裸足で腰低・撓曲・緩歩。わが国は足袋で摺足・廻歩・足拍子。求愛は北では振り、南は歌。歌・語りの伴うわが国の舞踊伝統は何から？互いに見て知る彼我の特質。交流会は、民族間のうなぎき合いの中間展示。そして、その展示を糧に修練した成果の中間発表が、わが黛舞踊団の公演です。

流祖は常に、内に籠りがちな日本の踊りの、外への顕現を想い、人間性生き生きの身体表現を願っていました。それをし遺して逝った現在、受け継ぐ黛琉美師と舞踊団は、遺作の継承もさることながら、己が感じる人間・事象を自在に表現する、流祖を超える舞踊創造に碎身してほしいと念います。アジアの友と共に天真爛漫、舞踊の沃野を生き生きと踊躍する交流会の次回を、ご期待ください。

令和5年3月 2023 アジア民族舞踊交流会 (会場 国立劇場小劇場)

当財団主催のアジア民族舞踊交流会が、8年ぶりに開催されました。本公演では、中国雲南地方の民族舞踊を劉宏軍氏主宰の雲南民族歌舞アンサンブルと、隣国韓国の伝統舞踊を朴貞子氏主宰のパク・ジョンジャ韓国舞踊団にご出演いただき、伝統の継承と創造に取り組む作品が披露されました。

本交流会は、各国の文化交流に貢献すると同時に、劉宏軍氏(中国)・朴貞子氏(韓国)は日本に居住しながら、母国の音楽・舞踊の本質究明と伝統再生に取り組む業績が高く評価され、また後進の育成につながると期待もされています。一方、黛民族舞踊団も、この交流会を刺激に更なる飛躍を図ることができました。

本交流会にご参加いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。また、ご来場の皆様からいただいたご批評や貴重な助言、激励によって、黛民族舞踊団をはじめ当財団は、今後も各国の文化交流に微力を尽くす所存であります。



公演日 令和5年3月21日(火・祝)

会場 国立劇場小劇場

出演 雲南民族歌舞アンサンブル 代表：劉宏軍(リュウコウグン) 振付：邵曉楠(ショウギョウナン)

【舞踊家】 王心竹(オウシンチク) 張芮晴(チョウゼイセイ) 于健美(ウケンミ)

溫琚瑤(オンクンヨウ) 黃駿雅(オウジュア) 吳佳妮(ゴジャニ)

陶曉媛(トウギョウエン) 李怡純子(リイジュンコ)

【演奏家】 劉宏軍(リュウコウグン) 笛 郭敏(グオミン) 揚琴 錢騰浩(チエンタンハオ) 室笙

李英姿(リエイシ) 二胡 孫滿夢(ソンシアオモン) 横笛



朴貞子韓国舞踊団 代表：朴貞子(パク・ジョンジャ)

【舞踊家】 Sakiko・Mika・Taeko・Naomi・Mineko

【演奏家】 Park Jungja・Ryousuke・Masahito・Yoshihiro・Takasi

黛民族舞踊団 代表：黛琉美

【舞踊家】 西川扇重郎(友情出演)

黛真也 黛李穂 黛圭 花柳翁麗 小山羊子 川口恵里奈 野村陽子 戸塚文子

鈴木雅子 吉原久美子 長田珠澄 星来 松山純子 鈴木菜矢 五月女華舟(友情出演)

第1部「アジア民族舞踊交流会」

1. 「巫女舞」(日本)

岩手の早池峰山麓に伝わる山伏神楽の女舞には不思議な格調と魅力がある。
早池峰にこだまする笛と太鼓と手平鉦に祈る巫女の舞。本公演の序開き、祝儀舞。



2. 「花冠舞」(韓国)

花冠とカラフルな宮廷衣裳をつけて、おごそかで優雅に舞う、宮中舞踊形式の踊り。



3. 「哈尼少女節」(中国)雲南省 哈尼(ハニ)族の踊り

雲南省には現在24の少数民族が、それぞれの生活様式をもって暮らしている。哈尼族の祭りの歌舞で、少女たちが下駄履きでカラカラと音を響かせ踊る「下駄舞」は特に印象的。今回はこれらの歌舞をもとに再構成。



4. 「花腰花腰美」(中国)雲南省 傣(タイ)族の踊り

雲南省の傣族といえば西双版纳の人たちが想起されるが、今回は紅河州の花腰傣族の祭りの歌舞を基本にして振付・構成。竹細工の笠帽子と踊衣裳には、民族の美意識が結晶する。



5. 「滇人祭=(デンジン祭)」(中国)哈尼族・傣族アンサンブル

雲南の都・昆明を中心に広大な地域の広がりがかつて滇の国・滇の人々と呼んだ。音楽家劉宏軍氏と演奏家諸氏は漢族の人で、今回はそれぞれの民族が心をひとつにして中国の汎民族芸術の創造を試みる。テーマは祈り。



6. 「ヒャンバル舞」(韓国)

両手にヒャンバルというカスタネットのような金属製の楽器を打ちながら舞う宮廷舞踊のひとつ。



7. 「原体剣舞連」(日本)

岩手の村々に伝わる鬼剣舞。宮沢賢治の「原体剣舞連」(東北の原体村にある剣舞を詩にしたもの)にヒントを得て黛節子が創作した作品。



8. 「長鼓舞」(韓国)

農民の祝祭には必ずといってよいほど登場する最も人気のある民族舞踊のひとつ。

代表的な打楽器チャンゴを肩にかけて打ちながら舞い、祝祭の楽しい雰囲気を一層引き立てる。



9. 「三鼓舞」(韓国)

三面の太鼓を韓国のリズムで女性が打ちながら舞う。力強くも優雅さをも秘めた太鼓の舞。



第2部 黛民族舞踊団「桜樹散華」

1. 「しのはら踊り」

奈良の奥吉野大塔村篠原に伝えられた風流小歌踊。宮大工として都市部に出る者が多く、そこから持ち帰った歌や踊りが始まりともいう。黛節子再構成作品。



2. 「小原木」

新潟県柏崎市女谷に伝わる綾子舞。その一曲に「小原木踊」あり、初期歌舞伎舞踊の面影を残すとも。華やかな風流踊りで、小歌踊りの絶品。



3. 「ごんべとからす」

権兵衛が種まきや、烏がほじくる。百姓男といたずら烏の一騎打。



4. 「ややこ踊り」

「ややこ」とは可愛い幼女。ややこ達が歌い囃すあどけなさを強調し、阿国歌舞伎が採り入れて演目になったとも。



5. 「想夫恋」

雅楽曲「相府蓮」の音読みが「想夫恋」と宛字され、女性の恋慕の情を歌う曲に。ここでは、出雲の阿国が男装し、恋人の名古屋山三郎に身を変えて、恋慕の想いを踊る。性倒錯の趣向が、京童の人気の的に。



6. 「花念仏」

跳ねばはねよ、踊らばおどれの「踊り念仏」は中世の信仰。やがて芸能化され近世初期には「念仏踊」に。日本の盆踊の原質ともなる。黛節子オリジナル。



7. 「祝舞」(花田植、豊年舞)

仙台の奥秋保に伝わる田植踊。早乙女の早苗をとる手が美しい。花笠は桜、稲の花のシンボル、美称でもある。豊年満作を祝う村人たちの歓喜の声が聞こえる。本公演のファイナル。



フィナーレ



総合演出: 黛 琉美

【スタッフ】

照明デザイン: 小保内 陽子 ((株) エクサート松崎)

映像デザイン: 金 大偉 (TAII Project)

衣裳デザイン(雲南民族歌舞アンサンブル): 吳 松懿

振付(雲南民族歌舞アンサンブル): 邵 曉楠

舞台監督: 堀井 基宏

舞台監督助手: 峯岸 沙綾

大道具: 金井 大道具

照明操作: 国立劇場舞台技術部

音響操作: 国立劇場舞台技術部

映像機材: アルゴン社

衣裳(黛民族舞踊団): 的場 花枝

ヘアメイク(黛民族舞踊団): 半沢 幸子

宣伝美術・写真撮影: 田中 文太郎 (Bt_arts)

翻訳: 鍵本 菜巳

公演写真撮影: 宮川 舞子

公演収録: 鈴木 壮志 (プラボーワークス)

主催・制作: 一般財団法人黛民族舞踊文化財団

遊びをせんとや、日本北から南 民俗舞踊再創造

創設者 黛 節子の作品は百を超えます。私どもは、その中でも、日本各地に脈々と伝わる民俗芸能を取材、研究し、現地の芸能を基に舞台芸術化した作品を継承すべく日々稽古に励んでおります。

今回は、日本北から南と題しまして、北は北海道アイヌの踊りから、南は沖縄と様々な踊りの中に織り込まれた人々の喜びや哀しみを民族舞踊を通してお楽しみいただけたらと思い構成いたしました。

「踊りに生きた華を咲かせなさい」との黛 節子の教えを糧に、色々な華を咲かせながら、邁進して参ります。

こうして皆様に見守られ踊ることのできる喜びに、厚く御礼申し上げます。

黛民族舞踊団代表 黛 琉美

一、サロルンリムセ (北海道)



二、追分 (北海道)



三、津軽じょんがら (青森)



四、最上川舟歌 (山形)



五、会津磐梯山 (福島)



六、コキリコ (富山)



七、伊予万歳（愛媛）



八、オテモヤン（熊本）



九、谷茶前の浜（沖縄）



十、黒島口説（沖縄）



フィナーレ



司会：松山純子



スタッフと共に集合写真



新宿芸術家協会が主催する多ジャンル舞踊公演。例年会場となっている四谷区民ホールが改装中のため、初めて新宿区外の日本橋公会堂での開催となりました。開催地に因んでテーマは「日本橋を踊る!」。第一部は自由な発想による作品集(ダンス・リベルテ)、第二部はテーマによる創作作品集で構成されています。

黛民族舞踊団は第一部のダンス・リベルテに出演し、「原体剣舞連」を若手メンバーを起用し披露しました。岩手の村々に伝わる民俗芸能のひとつ原体村の鬼剣舞を基に宮沢賢治が書き上げた詩を背景として繰り広げられる黛オリジナル舞踊作品です。

「新宿芸術家協会」は、新宿を拠点とする様々なジャンルのアーティストが主に所属する、芸術集団です。特に異なるジャンルのアーティストがコラボレーションする公演は高い評価を得ており、注目を集めています。若手アーティストの発掘・育成にも力を入れており、今後もアート界に貢献する活動を続けていくことが期待されています。

日本橋を踊る! The Dance Gathering Vol.25

第1部 ダンス リベルテ

黛民族舞踊団「原体剣舞連」【日本民族舞踊】

黛 圭 小山羊子 川口恵里奈 松本星来 鈴木美矢

大川 紗季 「Desert」【コンテンポラリーダンス】 振付:酒井銀丈
大川紗季

鈴木 彩乃 「xin」【中国創作舞踊】
鈴木彩乃

梅原 初美 「SENSE」【コンテンポラリーダンス】 振付:中村康之介
山口紗陽 石田麻乃 芝 優音 外崎木乃香 奥山咲夏 中村康之介

和田 寿子 「旅立ちのとき」【現代舞踊】
小田みさえ

小林 伴子 「Benamor に」【スペイン舞踊】 振付原案:岡田昌己
小林伴子
Yui (ヴァイオリン)



第2部 日本橋を踊る

雑賀 淑子 「序」【バレエ】
ウタコ 小島直子 奥原麻実 本田満子 竹原利恵
八房角宮【南京キヌダレ】

曲沼 宏美 「落下流水」【Creation dance of Asia】
曲沼宏美

山名たみえ 「空を探す」【現代舞踊】
山名たみえ / 岩城里江子(アコーディオン)

花柳 奈光 「相聞 ~日本橋川~」【日本舞踊】
花柳奈光

小林 祥子 「麒麟」【現代舞踊】
小林祥子 五十嵐美利

鈴木 恵子 「水夢」【創作舞踊】(中国・インド・マレーシア)
新井卓治 黒川妙子 秋葉あかり 四方美紗江 早川光江 鈴木恵子

西川箕乃三郎 「オッパケペ 海を渡る ~音次郎と貞奴~」
大谷 けい子
【日本舞踊、ダンスネオシノワーズ】
西川箕乃三郎 大谷けい子

令和5年度 黛民族舞踊団公演情報(令和5年4月現在)

【自主公演】

12月9日(土)・10日(日)

黛民族舞踊団12月公演2023 仮タイトル:「星と風と海からきいた～日本の民踊(うた)～」

会場:黛アート・サロン

時間:公演時間45分(休憩なし) 開演時間調整中

演目:相川音頭、牛深ハイヤ、博多節、ひえつき唄、雨乞い(宗方万行)、千鳥啼く、夜明け、黒島口説

チケット:一般1,500円/学生1,000円(定員50名)

今回の作品は、今から48年前の昭和50年(1975)に黛節子舞踊団が披露した演目の再創造を試みます。当時の音源、衣裳、映像が残されており、半世紀前の演目を再現することが可能となりました。現代に訴求力をもって通用する、黛節子舞踊作品の不変の魅力を表現することを試みます。海外の方々も含め多くの皆様に注目されることを期待しています。

【参加公演】

6月30日(金)

新宿芸術家協会主催公演

The Dance Gathering Vol.26

「道を踊る」

演目:花念仏(黛民族舞踊団)

会場:四谷区民ホール

時間:開演19:00(会場18:30)

チケット:自由席 前売4,000円

当日4,500円

チケットのお求めは財団事務局までご連絡下さい。

新宿芸術家協会公演
～現代のカオス新宿より～

チケット:前売 自由席4,000円 プレミアム指定席5,500円 当日 自由席 4,500円

第1部 ダンス リベラテ(自由テーマ作品集)

小池乃愛 「早春歌」【モダンダンス】 演出:長瀬典紀
小池乃愛

樋口素祐 「残っていた景色」【モダンダンス】 演出:辻司典美子
樋口素祐 堀越星

四方天紗江 「三日月」【中継演劇】 演出:四方天紗江 鈴木恵子
鈴木恵子 四方天紗江

小林祥子 「triángulo(三角形)」【フラメンコ】
小林祥子(振り) / 山崎まさし(ギター) / 大淵博光(歌)

モダンダンス 「竹むす」【現代舞踊】 演出:中村雄郎
石井 金 市井 孝 高谷大一 武井一七 栗 秀明

※上演する作品、出演者、プログラム順などは変更になる場合がございます

主催:井上正真(株)エドワード・タム
舞台監督:羽賀昌博
音響:河田昌一(株)エドワード・タム
アパレル:オノ裕子
宣伝:青木 雅弘(株)エドワード・タム
協賛:フラワーショップレインボウ

企画:大谷けい子
企画:小池乃愛 高井裕子
演出:小池乃愛 高井裕子
演出:小池乃愛 高井裕子
演出:小池乃愛 高井裕子
演出:小池乃愛 高井裕子

新宿芸術家協会
Tel: 03-3320-9834 / Fax: 03-3320-9836
企画:大谷けい子(株)エドワード・タム

2023.6.30日 金曜日
PM 7:00開演(午後6:30開演)
四谷区民ホール
東京都新宿区西町87

道を踊る The Dance Gathering Vol.26

第2部 道を踊る

難波淑子 「道」～谷川俊太郎の詩による～【バレエ】
難波淑子(振付) / 松尾 雅(振) / サイカバシエ(バレエ)

黛民族舞踊団 「花念仏」【日本民謡舞踊】 演出:黛 節子
黛 節子 黛 幸子 黛 幸子 黛 幸子 黛 幸子

曲沼宏美 「巡礼」【Creation dance of Asia】
曲沼宏美

小林祥子 「デジャヴ～記憶～」【現代舞踊】
五十嵐美和 高橋有美 小林祥子

鈴木恵子 「龍神の道」【現代舞踊】
鈴木恵子

池田瑞臣 「過が彼方へ」【現代舞踊】
小田みさ

サトウ雅子 「アケハルへの道」【インド系舞踊音楽劇】
松波ひとみ 三上佳子 由井 祥子 サトウ雅子

大谷けい子 「静の道」【ダンス・パフォーマンス】
大谷けい子(振り)
若田 桃(振付) / 玉置 ひとみ(振) / 水内 忠之(振)

Flower Shop
Flower Shop
HOTEL NEW OTANI
花束・アレンジメントご用命承ります
フラワーショップ レインボウ
ホテルニューオータニ・ザ・メインビル
東京都千代田区紀元町1-1 5F(コートビル内) TEL: 03-3221-4187 FAX: 03-3221-4185
www.flower-shop.jp

舞踊団員募集のお知らせ

日本の伝統舞踊を学び、舞台上で踊ることに興味がある方は、ぜひ稽古見学や体験レッスンに参加してみてください。黛民族舞踊団では、現地の民俗芸能を基に舞台芸術化した作品を継承し、創造しています。団員は現在18名で活動しており、新しい仲間を募集しています。舞踊団員として活動することで、日本の伝統芸能を学び、技を磨くことができます。

また、舞台でのパフォーマンスを通じて、自分の表現力を高めることができます。

募集についての詳細は、財団事務局にお問い合わせください。35歳以上の方も歓迎です。

一緒に黛民族舞踊を学び、舞台上で踊りましょう！

稽古場:黛アート・サロン(地下鉄 赤坂見附駅 徒歩2分)

稽古日時:毎週月・火・木曜日 18:00 から 21:00

問合せ先:黛民族舞踊文化財団事務局

TEL 03-3583-3633 / FAX 03-3583-3639

E-mail info@mayuzumi.or.jp

home page





財団参与 黛 莉香と共に記念写真

一般財団法人黛民族舞踊文化財団のあらまし

当財団は、わが国伝統の民俗舞踊を舞台芸術として確立し、その普及向上を図るとともに国際文化交流を行うことを目的として、昭和61年3月文部大臣から設立を許可された団体です。財団設立後は、(1)民族舞踊普及向上のための中央における公演をはじめ、地方巡回公演を活発に行ってひろく一般にこれを紹介し、また研究成果の発表会等を開催し、(2)後継者の育成を目的として民族舞踊の研究者(音楽、振付けを含む)、舞踊家のための研究会、研修会等を開催して創作活動を奨励すると共に技能の向上を図り、(3)日本各地および東南アジア諸国の民俗芸能を取材し、その研究を行うと同時に収集した資料を整理保存して一般にこれを提供し(将来は資料館を設置して一般の利用に供することを計画しています)また、(4)世界各国にはそれぞれ民族舞踊団が国家の庇護のもとに活動していますが、これらの舞踊団との交流や、東南アジア諸国の民俗芸能伝承者たちとの交流等、幅広い国際交流を推進して相互の連携と研鑽につとめ、(5)民族舞踊、民俗芸能に関する資料および研究成果等の出版物を刊行して、民族舞踊に対する理解を深める目的達成のため、年次を追って事業を充実していきたいと考えております。しかしながら、事業を発展充実させていくためには、何と申しましても経済的基盤を確立する必要があることを痛感いたしております。当財団が、真にわが国を代表する民族舞踊の振興団体として育ててまいりますよう、財団の事業目的を御理解くださり、各界の方々の御支援を心からお願い申し上げる次第です。つきましては、当財団には下記の通り賛助会員規程を設けておりますので、皆様にはぜひ賛助会員として、会費により御支援を賜りたく、お願い申し上げます。

黛民族舞踊文化財団 賛助会員規程

一、賛助会員とは、この法人の趣旨目的に賛同して入会くださった個人・法人(団体)の方々の名称です。

二、会費寄付の内容は下記の通りです(但し、年間会費として扱わせていただきます。)

- ア、個人の場合 個人会員 五千円以上
特別個人会員 十万円以上
- イ、法人の場合 法人(団体)会員 十万円以上
特別法人(団体)会員 百万円以上

三、賛助会員の特典

ア、特別会員(個人・法人)

- ① 年一回以上公演全の切符御一名様御招待
- ② 「財団の宴」など種々の行事に御招待

イ、会員(個人・法人)

- ① 年一回以上公演全の切符御一名様御招待

なお、御入会くださいます方は、賛助会員会費寄付申込書に御記入の上、御返送いただきたく存じます。賛助会員会費寄付申込書は、当財団宛に御請求ください。領収書は、銀行にお振り込みいただいた後、お送り申し上げます。

民族舞踊文化 No.35 令和5年(2023)5月10日発行

発行人 三隅治雄 編集 黛民族舞踊文化財団事務局

THE MAYUZUMI FOUNDATION FOR TRADITIONAL FOLK DANCE

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

MAYUZUMI BLDG., 3-10-3, AKASAKA, MINATOKU, TOKYO, JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-10-3 黛ビル4F

TEL 03-3583-3633

E-mail info@mayuzumi.or.jp

FAX 03-3583-3639

URL http://www.mayuzumi.or.jp